

# 平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月12日

上場会社名 株式会社 大田花き  
 コード番号 7555 URL <http://www.otakaki.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表執行役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月15日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 磯村 信夫  
 (氏名) 金子 和彦

TEL 03-3799-5571

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	6,169	0.4	△21	—	4	△72.3	△10	—
28年3月期第1四半期	6,143	—	△4	—	14	—	2	—

(注)包括利益 29年3月期第1四半期 △10百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 2百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	△1.97	—
28年3月期第1四半期	0.54	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	8,647	4,605	53.3	905.11
28年3月期	9,280	4,676	50.4	919.08

(参考)自己資本 29年3月期第1四半期 4,605百万円 28年3月期 4,676百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	12.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年 3月期の連結業績予想(平成28年 4月 1日～平成29年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,147	3.0	166	△9.5	186	△17.9	119	2.5	23.58

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期1Q	5,500,000 株	28年3月期	5,500,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年3月期1Q	411,463 株	28年3月期	411,463 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	5,088,537 株	28年3月期1Q	5,089,461 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、7月に実施された参議院議員選挙でアベノミクスが論争点になったように、急速に進行した円高や株価の低迷などを受け重苦しい雰囲気となりました。

花き業界においては、国内外ともに供給量が増えず、品目によっては前年並みか微減で推移しています。

このような経済状況のもとで、当社グループは、都市生活者の心の健康や生産性アップのためにも、室内に自然を取り込んでもらおうと、観葉植物や多肉植物、切花では草花類や葉物・枝物を多く販売しました。前年、相場が良かった菊類は、生産量は横ばいで単価は下がったのに対し、エコロジカルな花きは価格を下げずともよく売れました。

今年の母の日は、アジサイ鉢が人気でした。しかし、ゴールデンウィークの直後であったため、盛り上がりは欠け、取扱金額で前年を下回りました。一方、ゴールデンウィーク期間中にお墓参りを行う「母の日参り」は定着しつつあり、来年以降もこの需要には期待が持てます。

連結子会社の株式会社九州大田花きは、4月に発生した熊本地震と、その後の豪雨の影響で九州エリアにおける需要減少の影響を受けました。しかし、供給先の各卸売市場では品揃えを充実したいという要望が強く、それらに応えられるように力を尽くしました。

また連結子会社の株式会社大田ウィングスは、新施設建設工事期間中であり、12月に完成を予定しております。

このような結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高6,169,272千円（前年同四半期比0.4%増）、営業損失21,689千円（前年同四半期は営業損失4,579千円）、経常利益は4,013千円（前年同四半期比72.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は10,032千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益2,761千円）となりました。

なお、当社グループは花き卸売事業単一セグメントであるため、セグメント別の記載は行っていません。

### （2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結累計期間における総資産は、前連結会計年度末と比較して633,301千円減少し8,647,413千円となりました。これは主に売掛金が1,020,234千円減少し、建設仮勘定が276,480千円増加したことなどによるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して562,206千円減少し4,041,724千円となりました。これは主に受託販売未払金が748,127千円、未払金が334,579千円それぞれ減少し、長短借入金が496,370千円増加したことなどによるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して71,094千円減少し4,605,688千円となりました。これは剰余金の配当61,062千円、親会社株主に帰属する四半期純損失10,032千円の計上により利益剰余金が71,094千円減少したことによるものです。

#### （キャッシュ・フローの状況）

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して143,260千円増加し2,177,684千円となっております。

営業活動の結果増加した資金は、265,046千円（前年同四半期は206,215千円の増加）となりました。主な増加要因は、売上債権の減少1,021,063千円、減価償却費73,526千円によるものです。また、主な減少要因は仕入債務の減少780,145千円、法人税等の支払額44,015千円によるものです。

投資活動の結果減少した資金は、613,495千円（前年同四半期は453,541千円の減少）となりました。主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出612,501千円、貸付けによる支出34,000千円によるものです。また、増加要因は貸付金の回収による収入34,910千円によるものです。

財務活動の結果増加した資金は、491,709千円（前年同四半期は14,842千円の減少）となりました。増加要因は、新施設建設に伴う借入による収入527,000千円によるものです。また、主な減少要因は借入金の返済による支出30,630千円によるものです。

### （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年5月13日の「平成28年3月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,036,423	2,179,684
売掛金	2,132,496	1,112,261
商品	1,438	1,057
未収消費税等	155,802	153,845
その他	127,951	149,373
貸倒引当金	△12,294	△2,574
流動資産合計	4,441,818	3,593,647
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,139,793	2,113,242
工具、器具及び備品（純額）	486,939	493,429
建設仮勘定	330,552	607,032
その他（純額）	142,095	137,277
有形固定資産合計	3,099,381	3,350,981
無形固定資産		
ソフトウェア	69,198	62,632
その他	4,265	4,265
無形固定資産合計	73,464	66,897
投資その他の資産	1,666,050	1,635,885
固定資産合計	4,838,895	5,053,765
資産合計	9,280,714	8,647,413
<b>負債の部</b>		
流動負債		
受託販売未払金	1,513,279	765,151
買掛金	75,147	44,135
短期借入金	150,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	159,960	223,800
未払金	391,406	56,826
未払法人税等	52,960	19,046
賞与引当金	25,096	39,796
その他	141,476	209,304
流動負債合計	2,509,326	1,658,060
固定負債		
長期借入金	1,339,390	1,621,920
退職給付に係る負債	301,555	310,855
資産除去債務	93,759	94,057
その他	359,899	356,831
固定負債合計	2,094,604	2,383,664
負債合計	4,603,931	4,041,724
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	551,500	551,500
資本剰余金	402,866	402,866
利益剰余金	4,072,269	4,001,174
自己株式	△349,852	△349,852
株主資本合計	4,676,783	4,605,688
純資産合計	4,676,783	4,605,688
負債純資産合計	9,280,714	8,647,413

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年6月30日）
売上高	6,143,525	6,169,272
売上原価	5,534,467	5,564,740
売上総利益	609,058	604,531
販売費及び一般管理費	613,637	626,220
営業損失（△）	△4,579	△21,689
営業外収益		
受取利息	1,232	1,169
受取配当金	4,500	6,878
持分法による投資利益	4,064	4,795
貸倒引当金戻入額	4,301	9,759
その他	4,949	5,388
営業外収益合計	19,047	27,991
営業外費用		
支払利息	—	1,880
保険解約損	—	408
営業外費用合計	—	2,288
経常利益	14,468	4,013
税金等調整前四半期純利益	14,468	4,013
法人税等	11,707	14,046
四半期純利益又は四半期純損失（△）	2,761	△10,032
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	2,761	△10,032

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,761	△10,032
その他の包括利益	—	—
四半期包括利益	2,761	△10,032
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,761	△10,032
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	14,468	4,013
減価償却費	39,228	73,526
賞与引当金の増減額（△は減少）	41,564	14,700
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	9,600	9,300
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△4,301	△9,759
受取利息及び受取配当金	△5,732	△8,047
支払利息	—	1,880
持分法による投資損益（△は益）	△4,064	△4,795
売上債権の増減額（△は増加）	713,449	1,021,063
たな卸資産の増減額（△は増加）	△291	381
仕入債務の増減額（△は減少）	△494,492	△780,145
未収入金の増減額（△は増加）	4,360	5,227
未払費用の増減額（△は減少）	△1,072	△6,058
未払金の増減額（△は減少）	△18,412	△32,909
未払消費税等の増減額（△は減少）	△34,196	18,039
その他	△58,850	△23,493
小計	201,257	282,923
利息及び配当金の受取額	20,783	28,019
利息の支払額	—	△1,880
法人税等の支払額	△15,824	△44,015
営業活動によるキャッシュ・フロー	206,215	265,046
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△423,643	△612,501
無形固定資産の取得による支出	△500	△1,904
貸付けによる支出	△89,800	△34,000
貸付金の回収による収入	60,401	34,910
投資活動によるキャッシュ・フロー	△453,541	△613,495
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	—	150,000
長期借入れによる収入	—	377,000
長期借入金の返済による支出	—	△30,630
配当金の支払額	△9,792	—
リース債務の返済による支出	△5,050	△4,660
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14,842	491,709
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△262,169	143,260
現金及び現金同等物の期首残高	2,624,777	2,034,423
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,362,608	2,177,684

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当社グループは、花き卸売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。